

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
SECカーボン(東京都工場) 第二粉成工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

スコアシート		基本設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.30					2.1
1 音環境		1.4	0.15	-	-			1.4
1.1 騒音		1.0	0.40	-	-			
1.1.1 暗騒音レベル		1.0	1.00	3.0	-			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		2.2	0.40	-	-			
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
1.2.2 界壁遮音性能		1.0	0.40	3.0	-			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		1.3	0.35	-	-			1.3
2.1 室温制御		1.7	0.50	-	-			
2.1.1 室温設定		3.0	0.38	3.0	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		1.0	0.25	3.0	-			
2.1.4 ゾーン別制御性		1.0	0.38	3.0	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 待機が空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		2.2	0.25	-	-			2.2
3.1 昼光利用		2.4	0.30	-	-			
3.1.1 昼光率		2.0	0.60	3.0	-			
3.1.2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	-	-			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		1.0	0.15	-	-			
3.3.1 照度		1.0	1.00	3.0	-			
3.3.2 照度均斉性		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		3.7	0.25	-	-			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
4.1.1 化学汚染物質	内装材には、F☆☆☆☆をほぼ全面的に計画	4.0	1.00	3.0	-			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ガス・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.6	0.30	-	-			
4.2.1 換気量	建築基準法に定める風量の1.4倍以上の換気風量を確保	5.0	0.33	3.0	-			
4.2.2 自然換気性能		1.0	0.33	3.0	-			
4.2.3 取り入れ外気への配慮	空気取入口を各種排気口と異なる壁面に確保	5.0	0.33	3.0	-			
4.2.4 換気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
4.3.1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-			
4.3.2 喫煙の制御	建物全館を禁煙としている	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		2.9	0.40	-	-			2.9
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.60	-	-			
1.1.1 広さ・収納性	一人当たりの執務空間12m ² 以上	5.0	0.33	3.0	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	3.0	-			
1.1.3 バリアフリー計画		1.0	0.33	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		3.3	0.40	-	-			
1.2.1 広さ感・景観	居室の天井高さ2.7m以上	4.0	0.33	3.0	-			
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	3.0	-			
1.2.3 内装計画		3.0	0.33	3.0	-			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31	-	-			3.3
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性	建築基準法に定められた20%増の耐震性	4.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新							
2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.0	0.29	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上(最小階高4.5m)	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		3500N/m2以上の荷重のゆとりを確保	4.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			4.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	露出配管、及び十分な天井内スペースを確保	4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	露出配管、及び十分な天井内スペースを確保	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	露出配管、及び十分な天井内スペースを確保	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	メンテナンススペース、搬出入扉、マシンハッチを確保	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=64.7	5.0	0.43	-	-	5.0
4 効率的運用			3.5	0.29	-	-	3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	運用・維持・保全についてマニュアルが整備されている	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	電炉メーカーの鉄筋	4.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材	4.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	高炉セメント、エコマーク付断熱材	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		2.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2参照値75%以下	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	浄化槽にて一次処理を実施(自主設置)	4.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場の確保、十分な幅員・延長の構内道路を確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	廃棄物の分別回収、有価物の計画回収	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策を実施、広告物照明の非設置	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	